

令和2年度 当別町における新型コロナウイルス緊急支援対策

支援事業名	概 要	担当課	決算額(円)	臨時交付金充当額	効果検証
スクールバス運行事業	6路線で乗客数の密度を減少させることから車両の大型化2路線2、ピストン輸送2路線、車両の増便2路線を行い対応した。	学校教育課	11,592,076	11,592,076	スクールバス内の3密を避け、コロナ禍における児童の登下校に寄与した。
公共施設、医療機関等感染防止対策事業	マスク、手指消毒剤等の衛生用品を備蓄するとともに緊急的に医療機関、介護施設等へ提供を行った。(町備蓄 6か月分、医療機関 3か月分、役場感染防止設備)	総務課 財政課 企画課 ICT推進課 保健福祉課	22,443,683	21,154,683	各施設へマスク、手指消毒剤等の衛生用品を備蓄するとともに緊急的に医療機関、介護施設等へ提供を行うクラスター防止に寄与した。
当別町中小企業特別融資災害等対策資金	感染症の影響を受けて売上が5～20%以上減少している事業者への支援として、「災害対策等対策資金」(融資上限300万円、返済期間3年、無利子)を創設し、感染症の影響を受けて売上が5～20%以上減少している事業者への支援として、現行の「事業資金(返済7年)」「小口資金(返済5年)」に関する利子補給を拡充し、当初3年間無利子とした。 12件	商工課	2,019,455	2,019,455	感染症の影響を受けて売上が5～20%以上減少している事業者への支援として現行の利子補給制度を拡充し、町内事業者の事業継続に寄与した。
当別町休業等支援金	道の休業支援金に上乗せして1事業者当たり計30万円を支給した。なお道の支援金の対象にならない酒類非提供の飲食店も営業時間の短縮等を行えば30万円を支給した。 町単独：24件、上乗せ：47件 計71件＋事務費	商工課	14,172,726	14,172,726	道の休業支援制度に上乗せした支援制度を設け、町内事業者の事業継続に寄与した。
当別町持続化支援金	感染拡大による消費低迷により、売上が30%以上50%未満減少している事業者に対し、事業継続を下支えするため10万円の支援金を支給した。 (国の持続化給付金の支給事業者を除く) 5件＋事務費	商工課	770,254	770,254	感染拡大による消費低迷により、売上が30%以上50%未満減少している事業者に対し、事業継続を下支えするための支援制度を設け、町内事業者の事業継続に寄与した。
プレミアム付き商品券	町内の消費喚起策として町内で使用できる プレミアム商品券を発行した。 (1冊10,000円で販売、プレミア率35%) 7,675世帯×プレミア分3,500円×2冊＝53,725千円＋事務費	商工課	60,064,329	44,690,255	町民の家計負担を軽減するとともに、町内の消費喚起に寄与した。
当別町子育て応援商品券	子育て世帯への支援のため、中学卒業までの児童1人につき1万円分の町内で使用できる商品券を交付した。 ○対象児童1, 363人、833世帯に交付	子ども未来課	14,418,411	14,418,411	子育て世帯への家計負担軽減に寄与した。
GIGAスクール構想支援事業	児童生徒「1人1台端末」及び「校内LAN環境」の整備など、当別町におけるGIGAスクール構想の推進を行った。 ○タブレット購入台数 996台(児童生徒845台、教職員84台、予備67台)	学校教育課	77,498,900	71,863,000	コロナ禍における教育環境を整備すべく、「1人1台端末」及び「校内LAN環境」などのGIGAスクールの推進を図った。
公立学校情報通信環境整備支援事業	感染対策による臨時休業等における学校職員の在宅勤務の支援を行った。 校務用PCシステム4校分	学校教育課	69,300,000	69,300,000	コロナ禍における遠隔教育環境の整備を図った。
家庭学習のための通信機器整備支援事業	GIGAスクール構想に必要なインターネット環境がない準要保護者世帯等の家庭用モバイルルータの整備を行う。 ○モバイルルータ100台、ホームキット50台	学校教育課	2,175,800	2,175,800	コロナ禍における遠隔教育において、wifi環境が整っていない家庭への支援を行った。
学校保健特別対策事業費補助金	集団感染リスクを避けるための学校衛生用品を整備した。	学校教育課	8,232,668	4,000,000	感染対策用品の整備を充実させることで、学校内での感染症拡大防止に寄与した。
学校保健特別対策事業費補助金	各学校における消毒液やマスクなど衛生用品の購入等、児童生徒の学びを保障する経費を支援した。	学校教育課	287,100	144,000	感染対策用品の整備を充実させることで、学校内での感染症拡大防止に寄与した。
感染症対策用学校衛生用品導入及び設備整備事業	①学校内での感染リスクを避けるための学校衛生用品を整備し、リスク回避のための設備改修を行った。 ②感染防止用衛生用品の整備及び手洗場等の衛生環境を整備した。	学校教育課	511,271	511,271	感染対策用品の整備を充実させることで、学校内での感染症拡大防止に寄与した。
当別町準要保護児童生徒昼食費用補助金	準要保護世帯及び特別支援児童生徒世帯等に対し、臨時休業中の昼食費用(給食費相当分)を支給した。 ○対象:小学生91人、中学生62人	学校教育課	1,099,522	1,056,000	子育て世帯への家計負担軽減に寄与した。
当別町医療機関等臨時支援金	町内の一次医療体制を維持するため、受診控えなどにより影響を受けている医療機関に対し支援した。 ○医療機関等 100万円×13か所 20万円×1か所	保健福祉課	13,200,000	13,200,000	コロナ禍においても、診療体制が確保されたことにより、地域医療が維持された。
当別町介護施設・障害福祉施設等臨時支援金	利用控えなどにより影響を受けている介護サービス及び障害福祉サービス事業所を運営する法人に対し、事業所数に応じて支援した。 ○1～2事業所10万円×6法人、3～4事業所20万円×5法人、5事業所以上30万円×4法人(合計15法人52事業所)	介護課	2,800,000	2,800,000	コロナ禍においても、サービス体制が確保されたことにより、地域の介護・障害福祉サービスが維持された。
当別町保育従事者等臨時慰労金	小学校等の臨時休校時や非常事態宣言時においても、感染リスクを抱えて認定こども園及び放課後児童クラブ(プレイハウス)に勤務していた保育従事者等に対し、慰労金を支給した。 ○保育士等108名×5万円	子ども未来課	5,400,000	5,400,000	感染防止対策を講じながら事業を実施し、町の保育事業を担っている従事者を支援することにより、事業継続が図られた。
当別町妊娠・子育て臨時給付金	緊急事態宣言により、妊産婦の通院や出産時の制約による精神的・経済的不安の増大していたことから、妊娠・子育てを支援するため給付金を支給した。 ○令和2年4月28日～令和3年3月31日の間に出産した者又は出産予定の妊婦44名×5万円	保健福祉課	2,200,000	2,200,000	コロナ禍において、外出自粛の影響など精神的・経済的不安の増大していたことから妊産婦への支援を行い、負担軽減を図った。
一般旅客自動車運送事業者感染予防対策支援事業	町内の地域公共交通の事業継続のため、感染防止対策を実施して営業している貸し切りバス及びタクシー事業者を支援した。 ○対象法人4社×300千円、対象車両28台×30千円	企画課	2,040,000	2,040,000	コロナ禍で利用が伸び悩む中、感染防止を図りながら公共交通維持に努める事業者を支援した。
MaaSアプリを活用したコミュニティバス混雑状況提供事業	MaaSアプリ『とペナビ』を改修し、コミバス車内の混雑状況をリアルタイムに提供するシステムを実装することで3密回避等の選択肢を与え、感染拡大を防止した。	企画課	5,060,000	5,060,000	不特定多数の方が利用するコミュニティバスにおいて、感染拡大防止に寄与した。
西当別コミュニティセンター換気・空調機能強化事業	西当別コミュニティセンターの空調機械設備を更新するほか、網戸及び開閉式窓の設置により換気機能を強化することで、施設利用者の感染リスクの軽減を図った。	社会教育課	40,047,403	38,436,000	不特定多数の方が利用する公共施設の感染拡大防止に寄与した。
当別ふれあい倉庫換気・空調設備整備事業	当別ふれあい倉庫(赤れんが6号)の空調設備及び格子扉、空気清浄機を設置し、換気機能を強化することで施設利用者の感染リスクの軽減を図った。	商工課	5,275,875	5,275,875	不特定多数の方が利用する公共施設の感染拡大防止に寄与した。
公共施設換気機能強化等事業	町内会館等の冬場換気機能強化等のため、必要となる設備交換等を行い、施設利用者の感染リスクの軽減を図った。	財政課	11,648,852	11,648,852	不特定多数の方が利用する公共施設の感染拡大防止に寄与した。
感染症対策防災備蓄等事業	複合災害に備えるため、感染症対策を施した避難所の設置に向けた備蓄と、感染症対応に必要な消防備品等を整備するとともに、防災備蓄倉庫の設置を行った。 ○段ボールベット700個、間仕切り100個、間仕切り(テント)54個、手指衛生オートディスペンサー120台、体表面温度計測機能付き顔認証リーダー15台	総務課	47,663,417	37,699,076	防災備蓄倉庫を整備し備蓄品を保管できるようになったため、避難所運営の効率化に寄与した。
光ファイバー網基盤整備事業	「新しい生活様式」を実現するため、GIGAスクール構想や農業・林業、医療、5G等で情報通信環境を活用するための基盤となる光ファイバー網を、町内全地域に整備した。	ICT推進課	107,700,952	101,345,952	R2、R3繰越明許 町内全域に光ファイバーを整備し、テレワークや在宅学習のための通信基盤が整備された。
医療体制強化支援補助	町内1か所の医療機関に対して発熱外来を継続して設置するために係る費用の補助を行った。 ○プレハブリース代、医師等報酬、駐車場除雪費等	保健福祉課	5,160,000	4,474,797	コロナ禍において、発熱外来を実施する診療体制が確保されたことにより、地域医療が強化された。
無線システム普及支援事業費等補助金	(高度無線環境整備推進事業) ①「新たな日常」に必要な情報通信基盤の整備を行った。 ②学校教育や在宅学習に必要なICT環境を構築するための光ファイバ整備を公設民営で行った。	ICT推進課	317,790,000	107,591,517	R3繰越明許 町内全域に光ファイバーを整備し、テレワークや在宅学習のための通信基盤が整備された。